

News Release



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

令和8年1月20日

各報道機関文教担当記者 様

AMED 医学系研究支援プログラム キックオフ公開シンポジウムを開催

金沢大学は、昨年8月に、令和7年度 文部科学省・日本医療研究開発機構（AMED）が公募した「医学系研究支援プログラム」において【総合型】の採択を受けました。

つきましては、事業開始にあたりキックオフ公開シンポジウムを開催します。本シンポジウムは、事業概要や今後の取り組みを広く共有し、学内外の連携と協働を促進することを目的としています。

当日は、事業概要を説明するとともに、プログラム内の3つのプロジェクト（成育プロジェクト、脳プロジェクト、老化プロジェクト）で実施する研究を紹介することにより、本学が50年前倒しで実現を目指す「未来型健康社会」の創成への戦略を共有します。

については、当日の取材・報道をお願いします。

取材をご希望の場合は、1月28日（水）17:00までに別紙取材申込書にてお申し込みください。

AMED 医学系研究支援プログラム キックオフ公開シンポジウム

日 時：令和8年1月29日（木）10:30～12:30

場 所：ホテル日航金沢 4階 鶴の間（金沢市本町2-15-1）

対 象：どなたでも

内 容：別添チラシのとおり

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢大学医薬保健系事務部総務課総務係 山田

TEL：076-265-2109

E-mail：t-isomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

【参考：金沢大学の採択課題】

・事業課題名：

【総合型】22世紀の未来型健康社会に向けたヘルスサイエンス・イノベーション
－ Fusion Lab で拓く医学イノベーションと未来型健康社会の創成－

・事業代表者：

国立大学法人金沢大学 医学系長・医学類長 山本 靖彦 教授

・実施期間：

令和7年10月1日～令和10年3月31日（予定）

・事業の概要：

本学のプログラムは、22世紀の理想とされる「未来型健康社会」を50年前倒しで実現することを目指しています。そのために以下の「四位一体改革」を推進します。

- ・医学研究：臨床医学と基礎医学の緊密な連携による病態解明と治療法開発
- ・医療：先端医療技術の創出と地域・国際医療の発展
- ・人材養成：次世代研究者・学生の積極的参画
- ・働き方改革：研究時間確保と持続可能な研究環境の整備

さらに、総合大学としての強みを生かし、文理医融合の研究組織「Fusion Lab」を新設し、ヒトの生涯をテーマとした研究を推進することで、国内外における医学研究の中核拠点を目指します。

【事業協力機関】

北陸先端科学技術大学院大学

金沢医科大学

国立遺伝学研究所

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）

国立情報学研究所

持田製薬株式会社

株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

※【医学系研究支援プログラムの概要】や【「総合型」の特徴】は下記の関連リンクをご確認ください。

【関連リンク】

文部科学省「医学系研究支援プログラム」

https://www.mext.go.jp/a_menu/lifescience/bioethics/mext_00004.html

日本医療研究開発機構（AMED）

https://wwwAMED.go.jp/news/release_20250826.html

取材を希望する場合は、
1月28日（水）17：00までに、
下記の宛先に本申込書を添付し、メールにて
お申し込みください。

【宛先】

金沢大学医薬保健系事務部総務課総務係 山田

t-isomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

申込日：令和8年 月 日

医学系研究支援プログラムキックオフ公開シンポジウム 取材申込書

報道機関名：_____

取材記者氏名：_____ 様

※お決まりでない場合はお申込者名をご記入ください。

連絡先：_____

※当日ご連絡がつく番号をご記入ください。

同行者（カメラマン等）：_____ (名) 上記記者除く

カメラの種類と台数： スチール 台 / ムービー 台

【取材受付担当】

金沢大学医薬保健系事務部総務課総務係 山田

TEL：076-265-2109

E-mail：t-isomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

AMED 医学系研究支援プログラム キックオフ公開シンポジウム

22世紀の未来型健康社会に向けたヘルスサイエンス・イノベーション
-Fusion Lab で拓く医学イノベーションと未来型健康社会の創成-

開催日時：令和8年1月29日(木) 10:30～12:30 受付 10:00～
会 場：ホテル日航金沢 4階 鶴の間（対面のみ）

【事業概要】

能登半島地震および豪雨による甚大な被害は、日本が近未来に直面する少子・超高齢化の実態を能登において可視化しました。本学は、22世紀の理想とされる健康社会を具現化した「未来型健康社会」を50年前倒しで実現するための戦略を掲げ、総力を挙げて、本事業に取り組みます。主な取り組みは以下のとおりです。

- ・医学研究・医療・人材養成・医師や研究者の研究時間確保等働き方改革を一体としてとらえた「四位一体改革」により、ライフサイエンスイノベーション創成に向けた「金沢モデル」を構築します。
- ・多様な研究者からなる多極重層化した臨床医学と基礎医学の教室が密接に連携し、共同研究を推進する研究組織「Fusion Lab」を創成し、文理医融合・他機関との連携強化を図ります。

10:30	開会挨拶	和田 隆志（金沢大学長）
10:40	来賓挨拶	國土 典宏（AMED プログラムスーパーバイザー／国立健康危機管理研究機構理事長） 倉田 佳奈江（文部科学省研究振興局ライフサイエンス課課長）
10:50	事業概要	山本 靖彦（事業代表者／金沢大学医薬保健研究域医学系教授・医学系長） 矢野 聖二（研究マネージャー／金沢大学医薬保健研究域医学系教授）
11:05	研究概要	野村 章洋（金沢大学融合研究域融合科学系教授） 荒磯 裕平（金沢大学医薬保健研究域保健学系准教授／成育プロジェクト） 今村 公紀（金沢大学医薬保健研究域医学系准教授／脳プロジェクト） 城村 由和（金沢大学がん進展制御研究所教授／老化プロジェクト）
12:00	特別講演 「Aging, brain and whole-body health: targeting the hypothalamus」	Prof. Dongsheng Cai（アルバート・AINシュタイン医科大学）
12:15	講評	馬場 秀夫（AMED プログラムオフィサー／一般財団法人化学及血清療法研究所理事長）
12:25	閉会挨拶	谷内江 昭宏（金沢大学理事（附属病院・同窓会・大学基金担当）・副学長）



申込方法：下記リンクからお申込みください。申込期限：1月27日(火)12時（当日参加も大歓迎です）

<https://ws.formzu.net/fgen/S251691369/> (PC用)

*一般の方、本学教職員及び学生（up-to-dateセミナー扱い）等どなたでもご参加いただけます！



主 催：金沢大学

(申込コード)

事業協力機関：北陸先端科学技術大学院大学、金沢医科大学、国立遺伝学研究所、ナショナルバイオリソースプロジェクト、
国立情報学研究所、持田製薬株式会社、株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

問合せ：金沢大学医薬保健系事務部総務課／Tel：076-265-2113, 2801